

令和8年度公開プロセス結果（概略版）

府省庁名 文部科学省

事業名 宇宙・航空科学技術推進の調整に必要な経費

事業の概要

宇宙航空分野や拡大する融合領域を切り拓く人材の育成や、新たな分野開拓の端緒となるチャレンジングな研究開発等を支援することにより、本分野の裾野拡大や新たな可能性の開拓に資する。

公開プロセスにおいて踏まえられた「点検の視点」※

- 効果検証を強化し、成果に基づく制度運用へ転換すべき

※「租税特別措置・補助金見直しに関する関係閣僚等及び副大臣会議（第2回）」において示された、国民からのご提案を踏まえた各府省庁における自己点検の視点。
（参考）[各府省庁における要求・要望に向けた自己点検](#)

有識者からの主な指摘事項

- 現行指標は有用であるものの、裾野拡大の成果は見えにくいいため、異分野参加や非宇宙企業参加、その後の共同研究や宇宙利用等を補助指標として把握し、短期成果が見えにくい事業だからこそ、事業実施中に将来展開を追う指標の設定が必要である。
- 長期および短期のアウトカムについて、計測が難しい指標はより分かりやすくし、どんな「効果」が得られ、それをどのように検証するかを明確にすることが求められる。
- リスキリングの推進に見合ったKPIの設定が必要。
- 個別課題の評価にとどまらず、事業全体としての効果を把握し何が欠けているかを明確にして改善を行う体制が求められる。